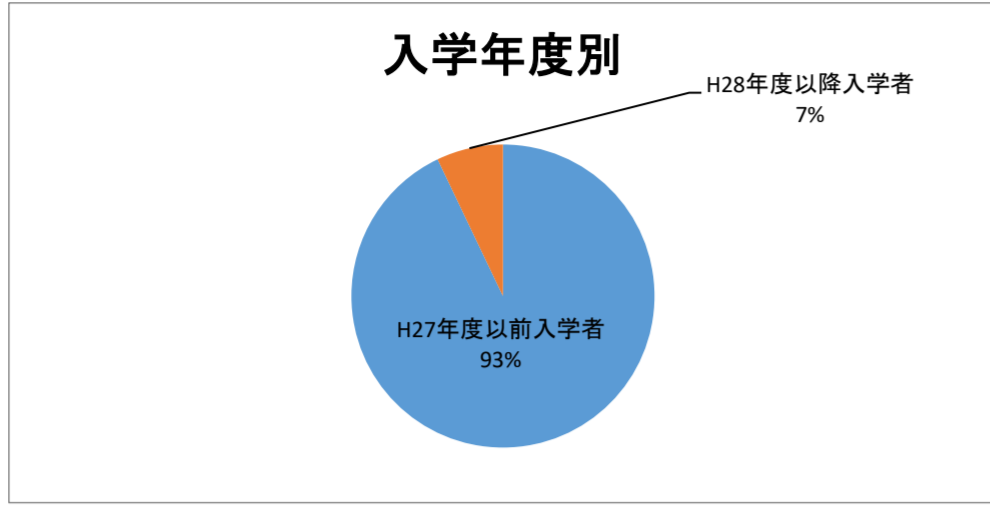
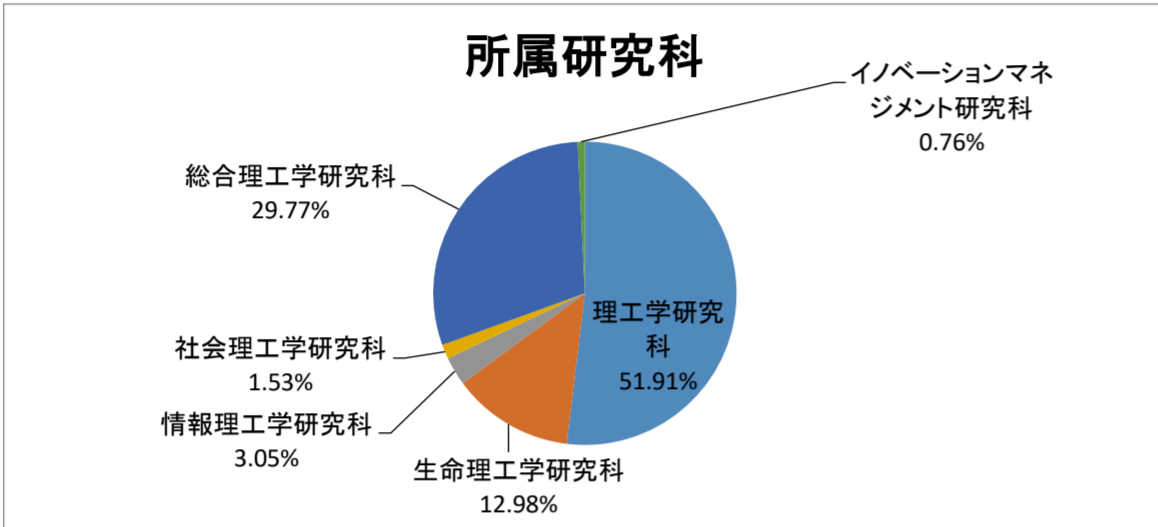


基本統計量

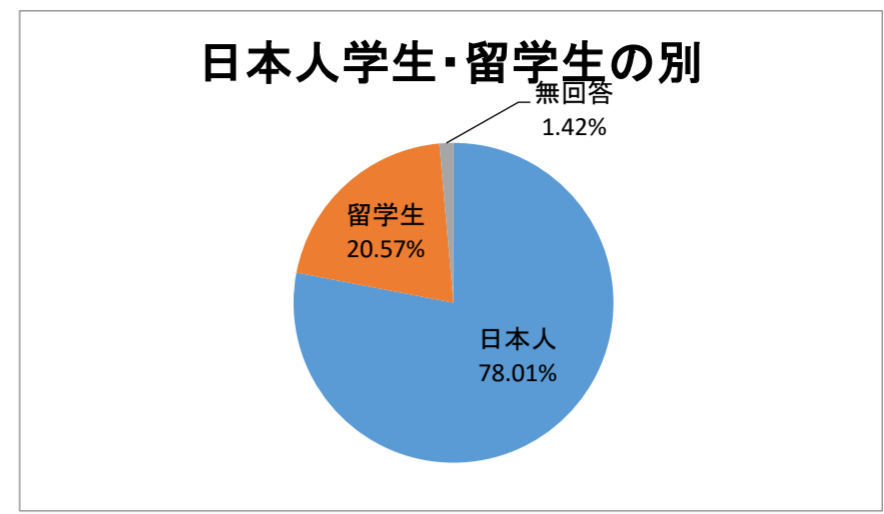


平成27年度以前の入学者(所属専攻・研究科)

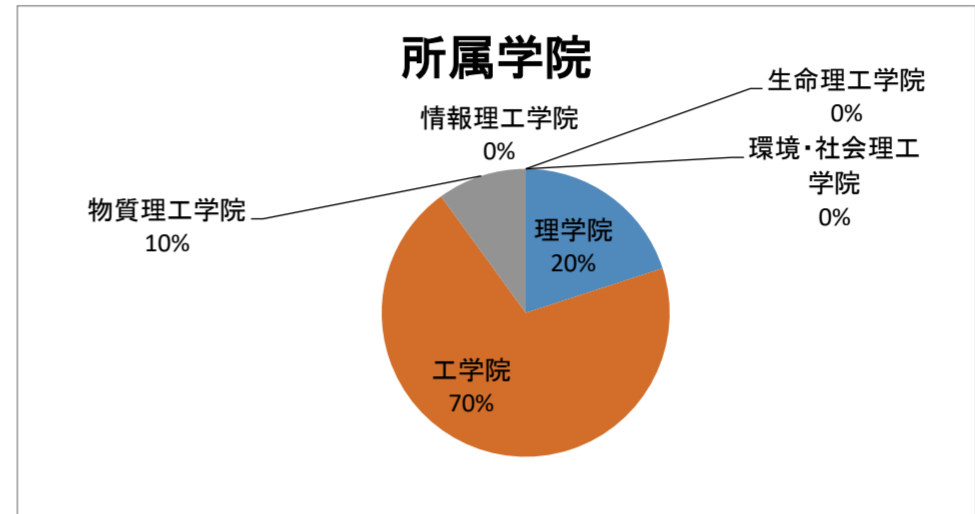


所属専攻

研究科	専攻	件数	比率
工学研究科	数学専攻	1	0.76%
	化学専攻	6	4.58%
	地球惑星科学専攻	3	2.29%
	基礎物理学専攻	1	0.76%
	物性物理学専攻	2	1.53%
	物質科学専攻	2	1.53%
	材料工学専攻	4	3.05%
	有機・高分子物質専攻	7	5.34%
	応用化学専攻	4	3.05%
	化学工学専攻	1	0.76%
	機械物理工学専攻	1	0.76%
	機械制御システム専攻	10	7.63%
	機械宇宙システム専攻	3	2.29%
	電気電子工学専攻	2	1.53%
	電子物理工学専攻	9	6.87%
	集積システム専攻	0	0.00%
	通信情報工学専攻	0	0.00%
	土木工学専攻	5	3.82%
	建築学専攻	0	0.00%
	国際開発工学専攻	2	1.53%
原子核工学専攻	5	3.82%	
生命理工学研究科	生命情報専攻	6	4.58%
	分子生命科学専攻	3	2.29%
	生体分子機能工学専攻	1	0.76%
	生体システム専攻	3	2.29%
	生物プロセス専攻	4	3.05%
情報理工学研究科	数理・計算科学専攻	1	0.76%
	計算工学専攻	2	1.53%
	情報環境学専攻	1	0.76%
社会理工学研究科	人間行動システム専攻	1	0.76%
	価値システム専攻	1	0.76%
	経営工学専攻	0	0.00%
	社会学専攻	0	0.00%
総合理工学研究科	人間環境システム専攻	1	0.76%
	創造エネルギー専攻	4	3.05%
	知能システム科学専攻	3	2.29%
	物質電子化学専攻	5	3.82%
	材料物理科学専攻	5	3.82%
	物質科学創造専攻	3	2.29%
	化学環境学専攻	4	3.05%
	環境理工学創造専攻	5	3.82%
	メカノマイクロ工学専攻	1	0.76%
	物理情報システム専攻	2	1.53%
	物理電子システム創造専攻	6	4.58%
イノベーションマネジメント研究科	イノベーション専攻	1	0.76%



平成28年度以降の入学者(所属学院・学系)

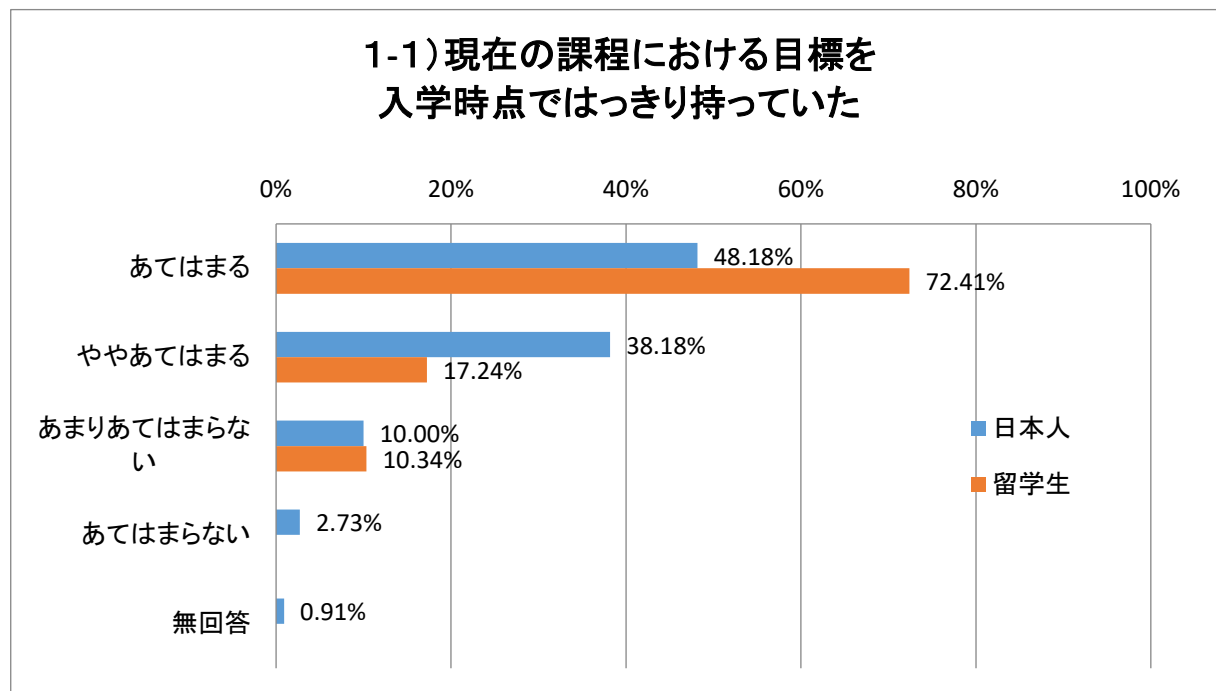
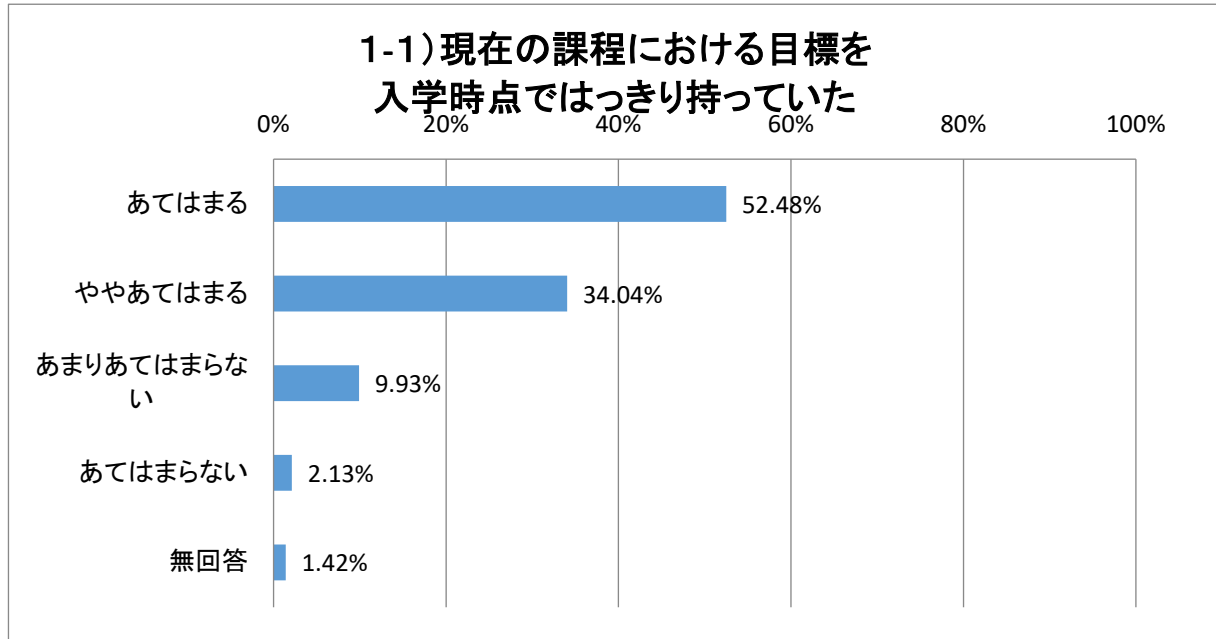


所属学系

学院	系	件数	比率
理学院	数学系	1	10.00%
	物理学系	0	0.00%
	化学系	0	0.00%
	地球惑星科学系	1	10.00%
工学院	機械系	2	20.00%
	システム制御系	1	10.00%
	電気電子系	2	20.00%
	情報通信系	2	20.00%
	経営工学系	0	0.00%
物質理工学院	材料系	1	10.00%
	応用化学系	0	0.00%
情報理工学院	数理・計算科学系	0	0.00%
	情報工学系	0	0.00%
生命理工学院	生命理工学系	0	0.00%
環境・社会理工学院	建築学系	0	0.00%
	土木・環境工学系	0	0.00%
	融合理工学系	0	0.00%
	社会・人間科学系	0	0.00%
	イノベーション科学系	0	0.00%

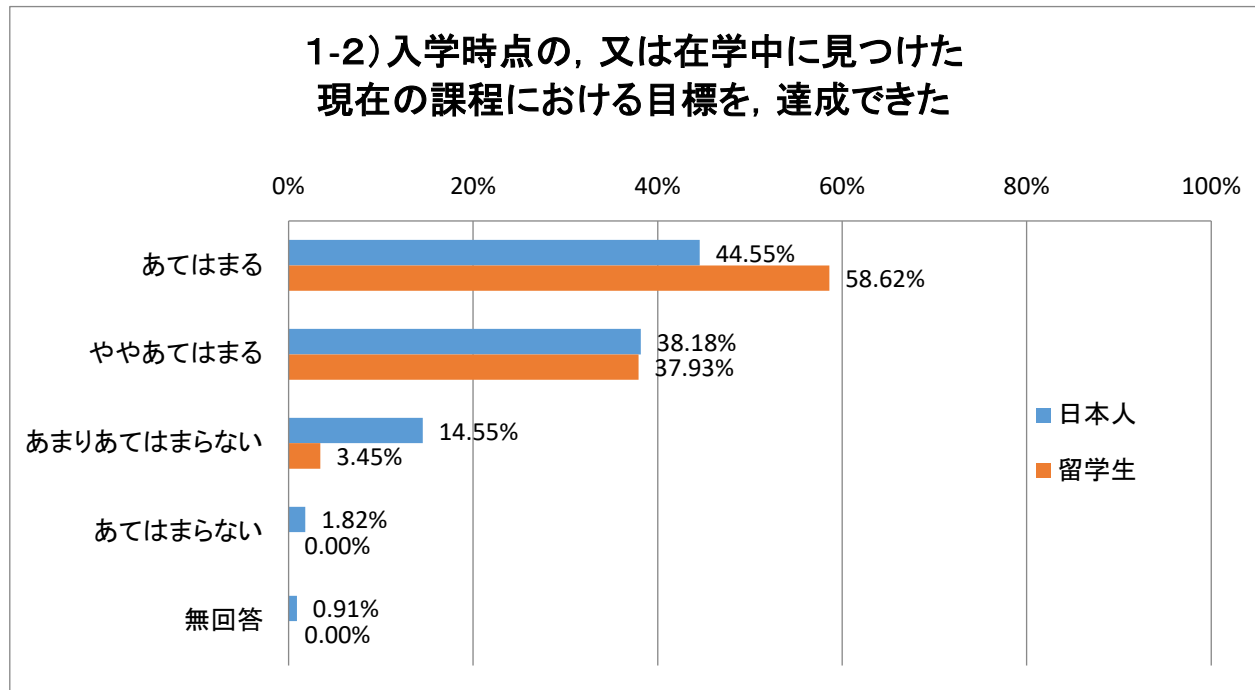
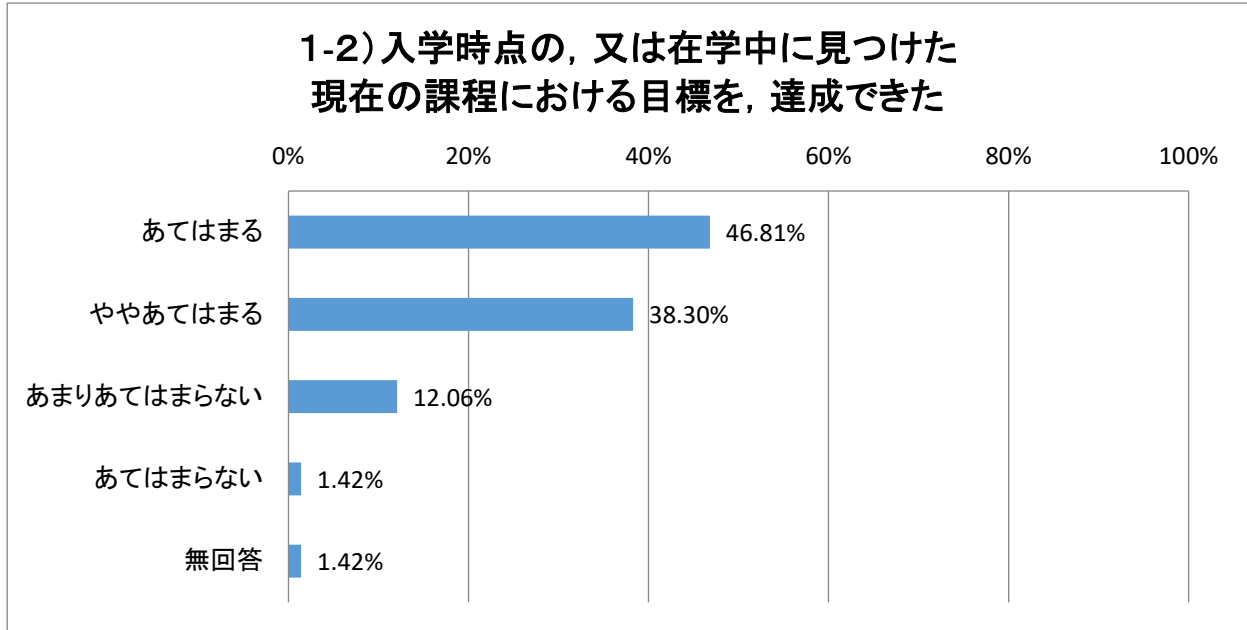
問1. 課程における目標について（選択肢別）

1)現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について（選択肢別）

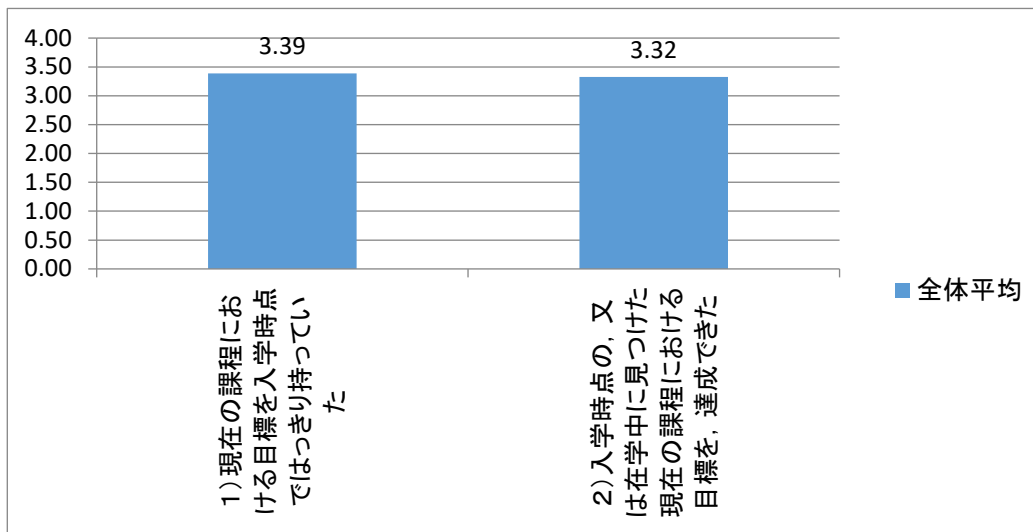
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた



問1. 課程における目標について（設問別）

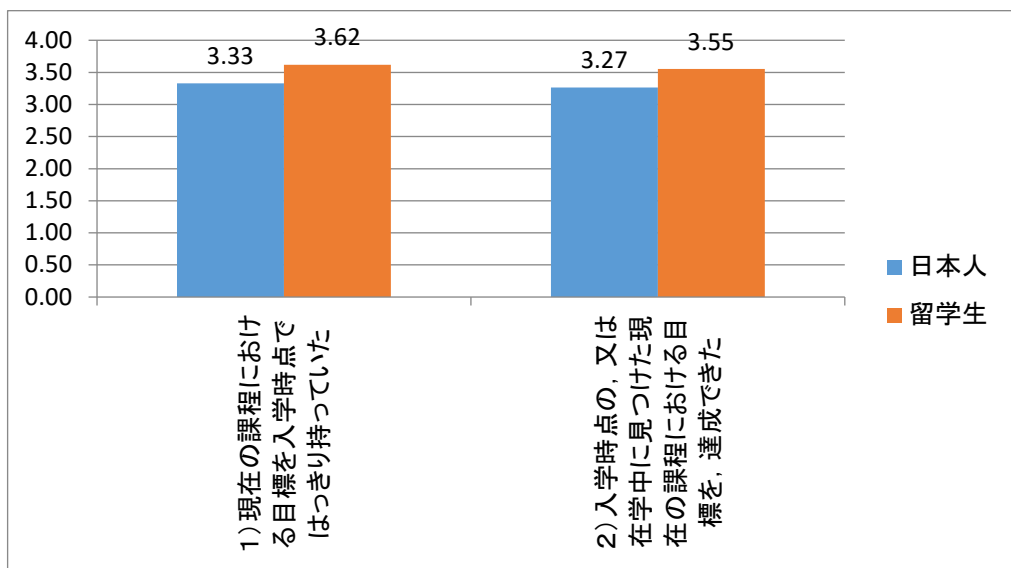
設問	全体平均
1)現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.39
2)入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.32

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



日本人学生・留学生別

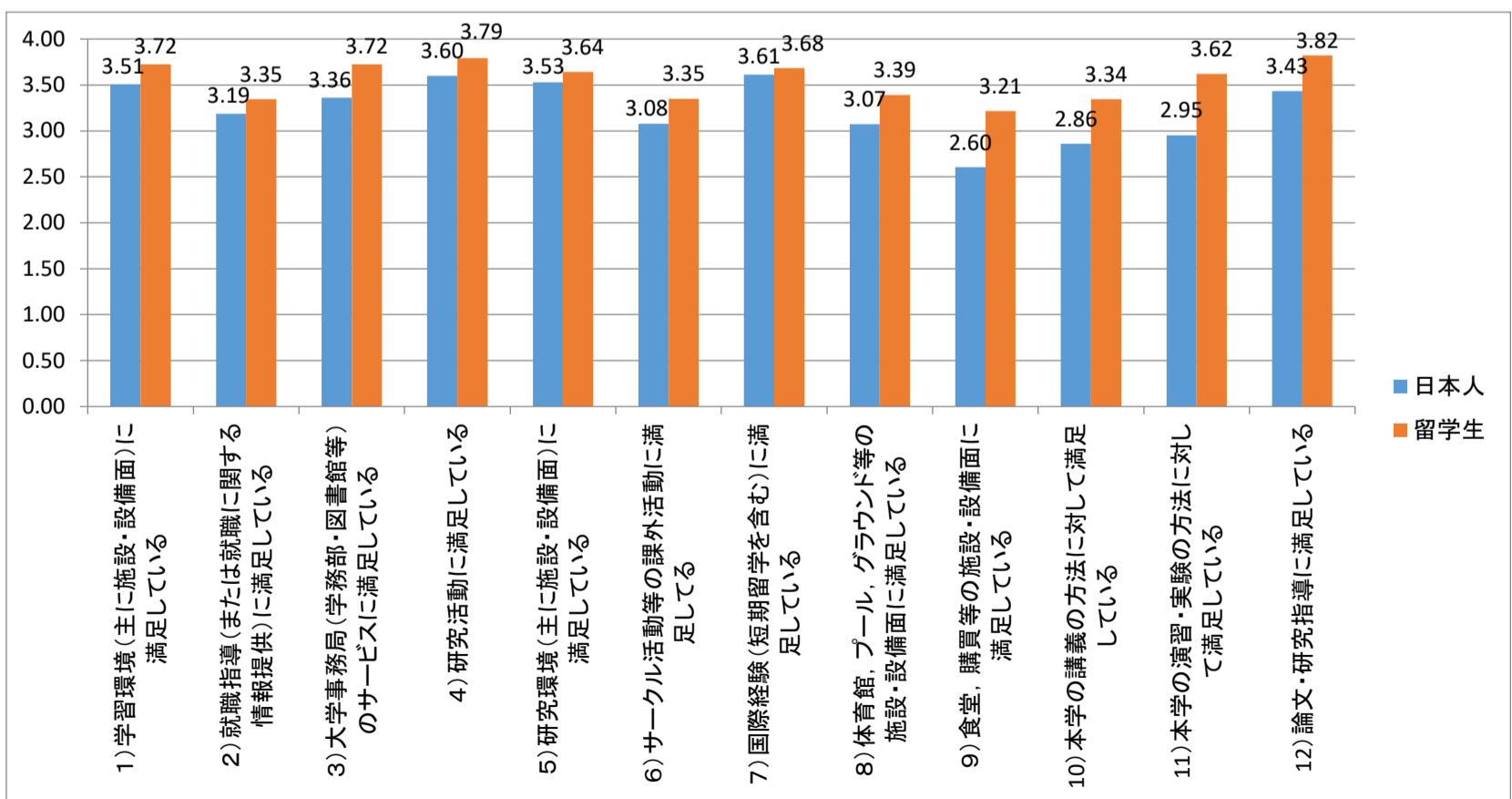
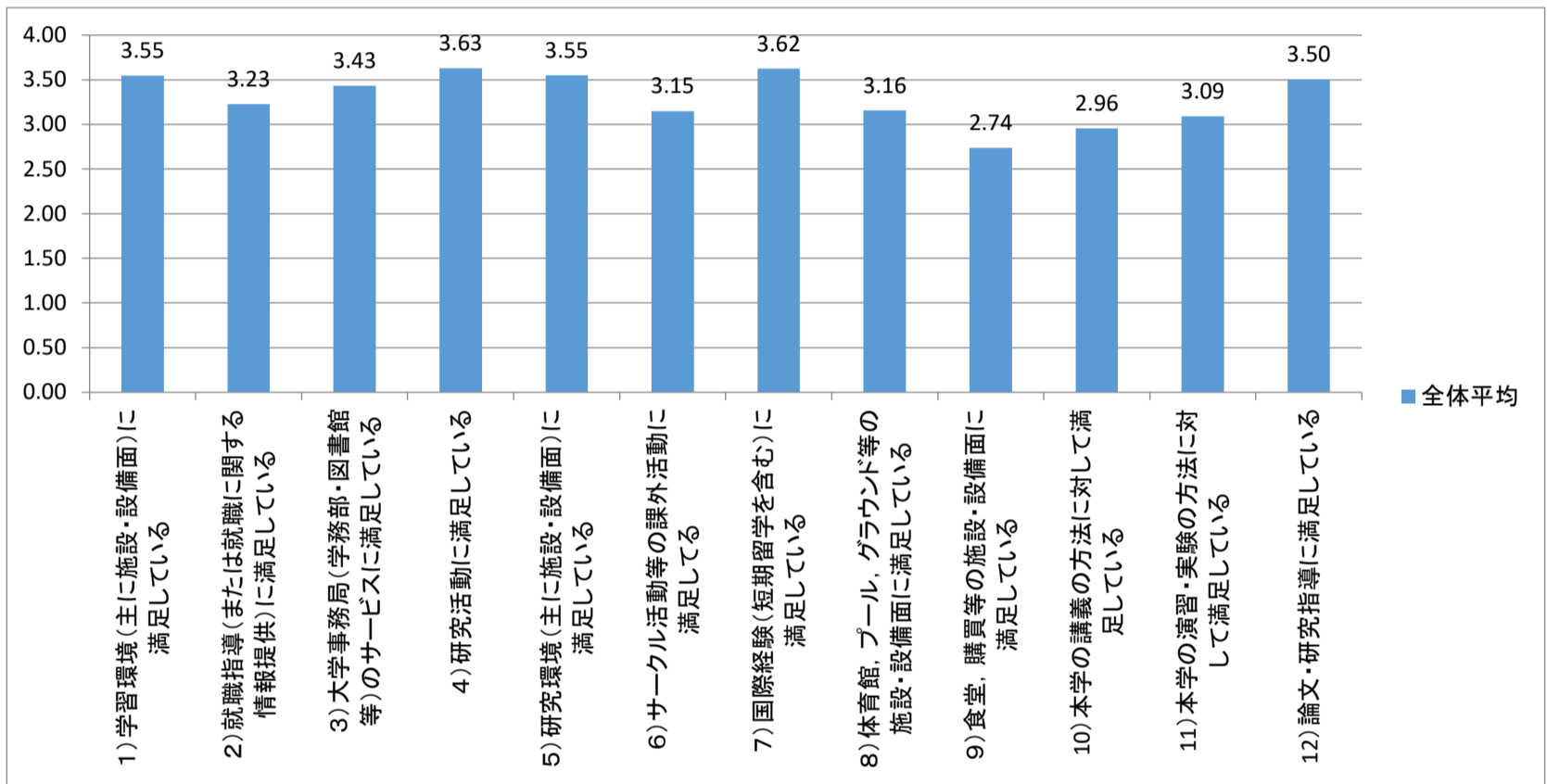
設問	日本人	留学生
1)現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.33	3.62
2)入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.27	3.55



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 学習環境(主に施設・設備面)に満足している	3.55	3.51	3.72
2) 就職指導(または就職に関する情報提供)に満足している	3.23	3.19	3.35
3) 大学事務局(学務部・図書館等)のサービスに満足している	3.43	3.36	3.72
4) 研究活動に満足している	3.63	3.60	3.79
5) 研究環境(主に施設・設備面)に満足している	3.55	3.53	3.64
6) サークル活動等の課外活動に満足している	3.15	3.08	3.35
7) 国際経験(短期留学を含む)に満足している	3.62	3.61	3.68
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	3.16	3.07	3.39
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.74	2.60	3.21
10) 本学の講義の方法に対して満足している	2.96	2.86	3.34
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.09	2.95	3.62
12) 論文・研究指導に満足している	3.50	3.43	3.82

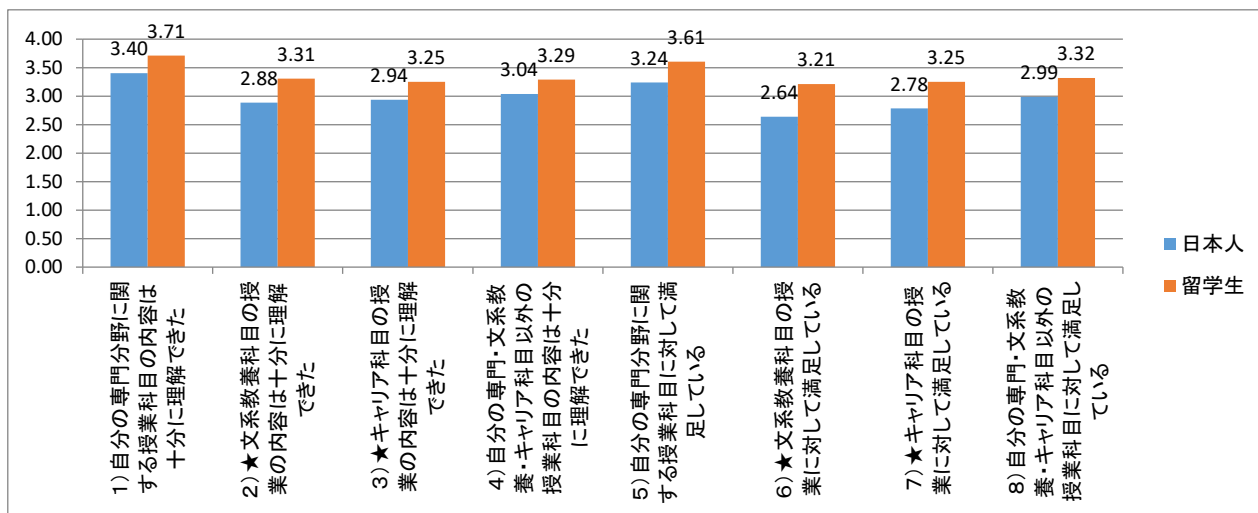
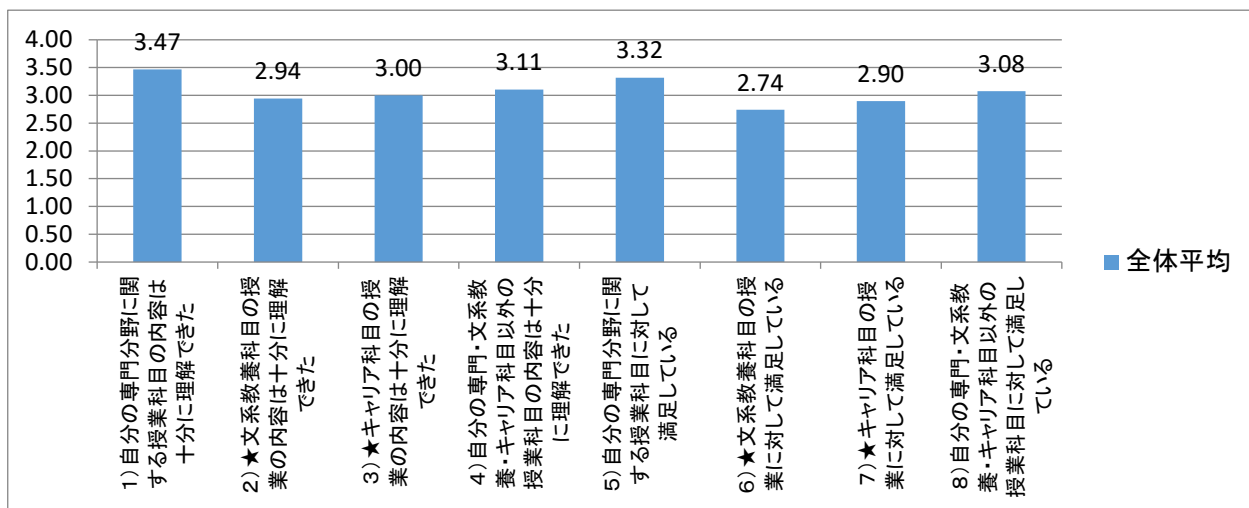
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学は★を付した質問項目には「9.履修していない」以外を選択

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.47	3.40	3.71
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	2.94	2.88	3.31
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.00	2.94	3.25
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.11	3.04	3.29
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.32	3.24	3.61
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	2.74	2.64	3.21
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	2.90	2.78	3.25
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.08	2.99	3.32

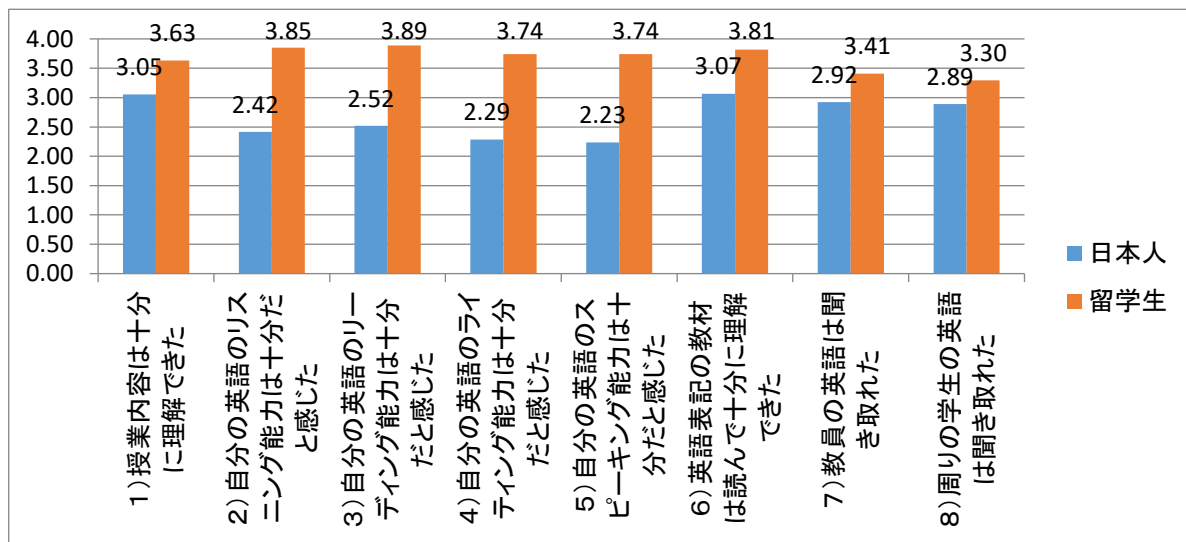
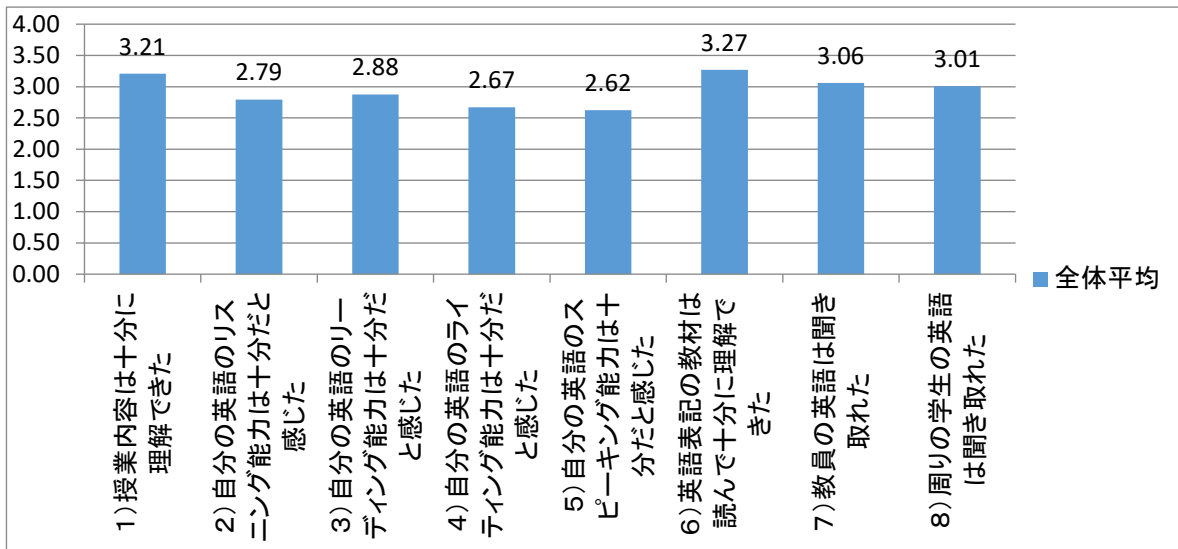
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業科目について

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 授業内容は十分に理解できた	3.21	3.05	3.63
2) 自分の英語のリスニング能力は十分だと感じた	2.79	2.42	3.85
3) 自分の英語のリーディング能力は十分だと感じた	2.88	2.52	3.89
4) 自分の英語のライティング能力は十分だと感じた	2.67	2.29	3.74
5) 自分の英語のスピーキング能力は十分だと感じた	2.62	2.23	3.74
6) 英語表記の教材は読んで十分に理解できた	3.27	3.07	3.81
7) 教員の英語は聞き取れた	3.06	2.92	3.41
8) 周りの学生の英語は聞き取れた	3.01	2.89	3.30

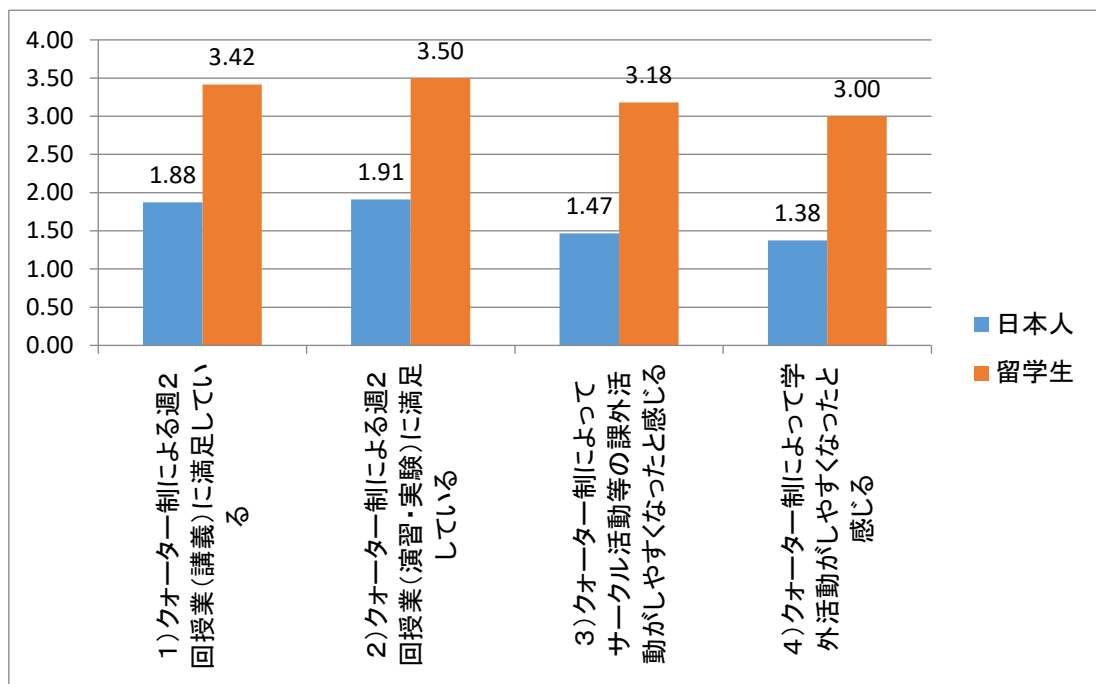
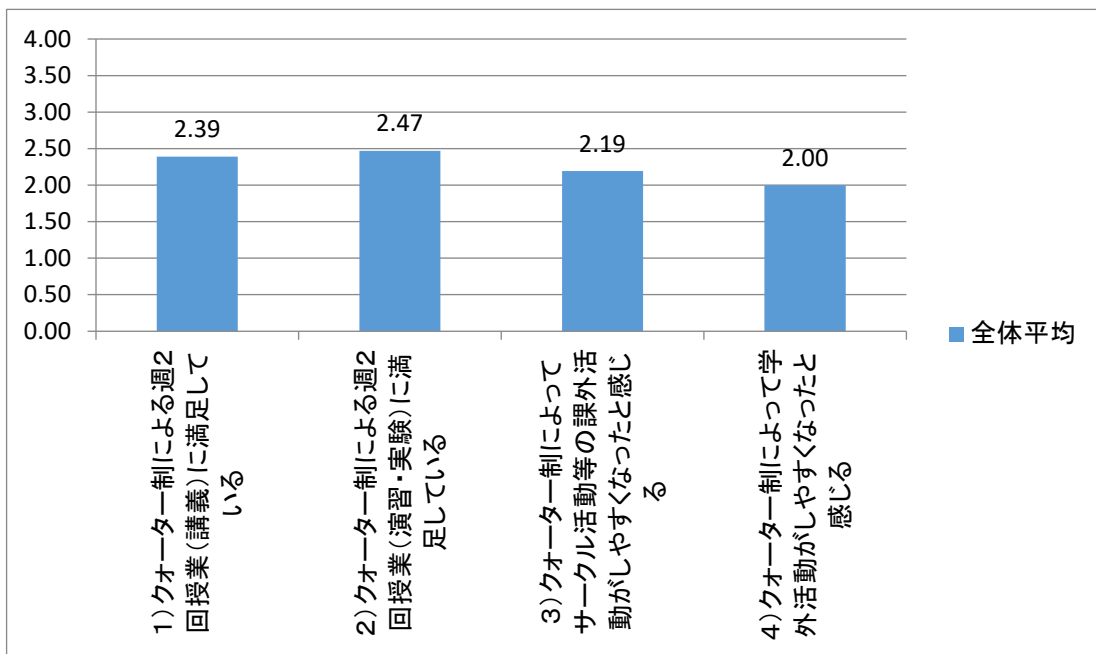
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



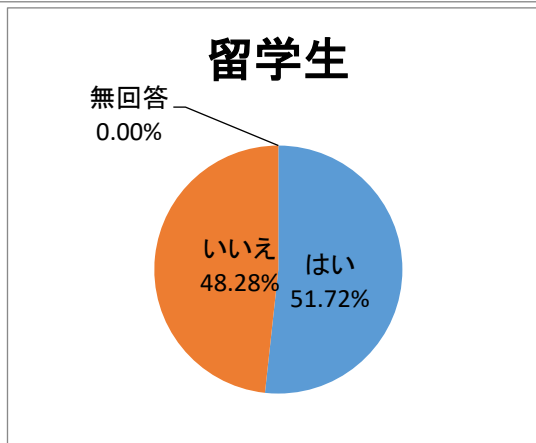
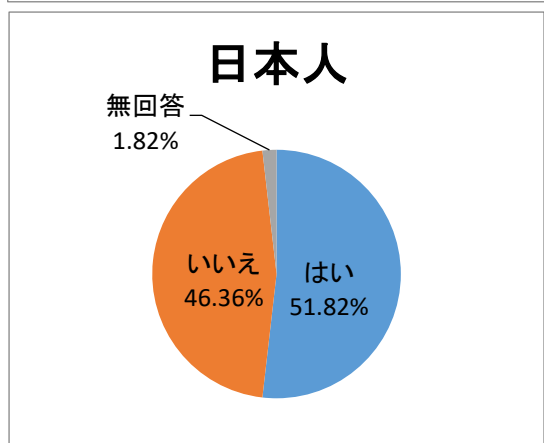
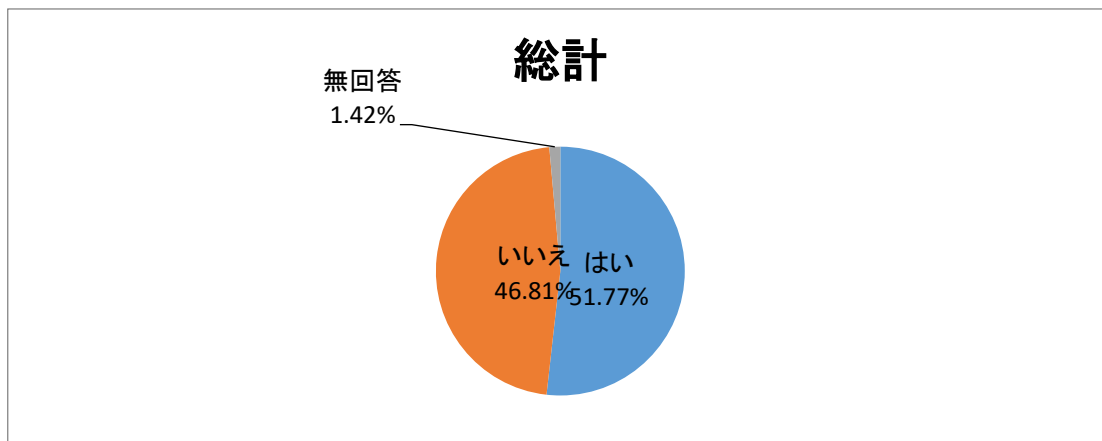
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人	留学生
1)クォーター制による週2回授業(講義)に満足している	2.39	1.88	3.42
2)クォーター制による週2回授業(演習・実験)に満足している	2.47	1.91	3.50
3)クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.19	1.47	3.18
4)クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.00	1.38	3.00

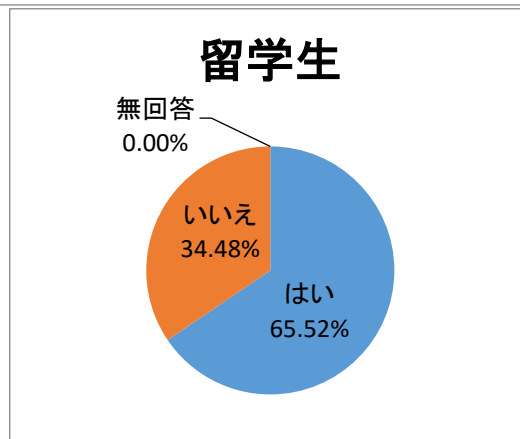
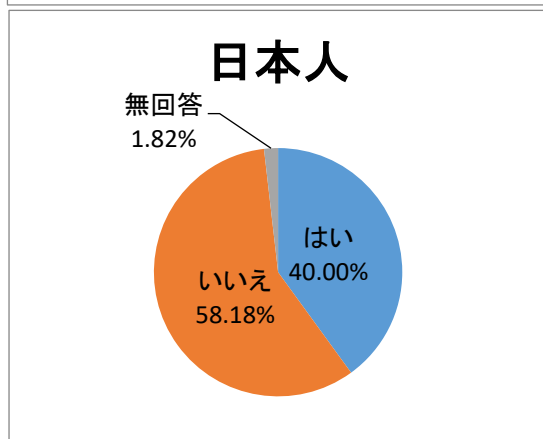
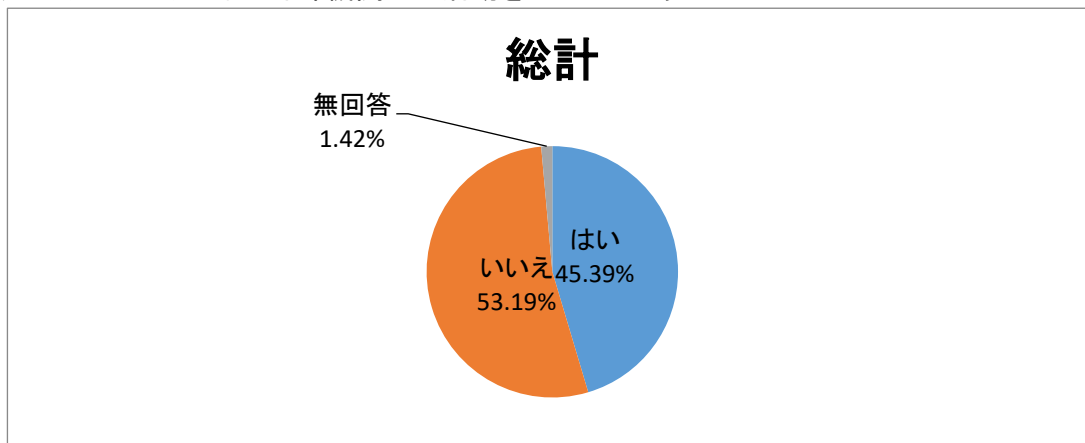
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



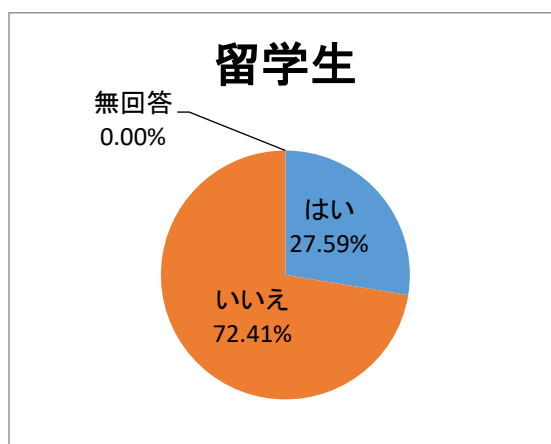
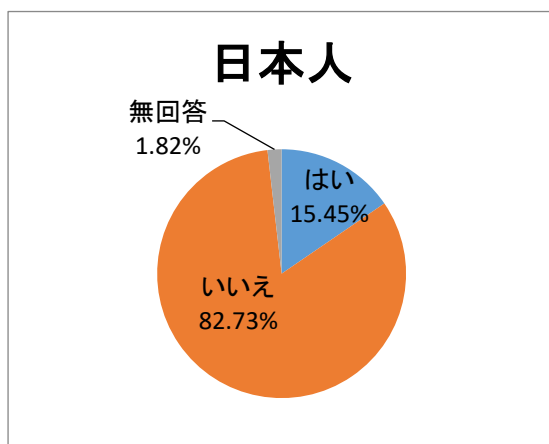
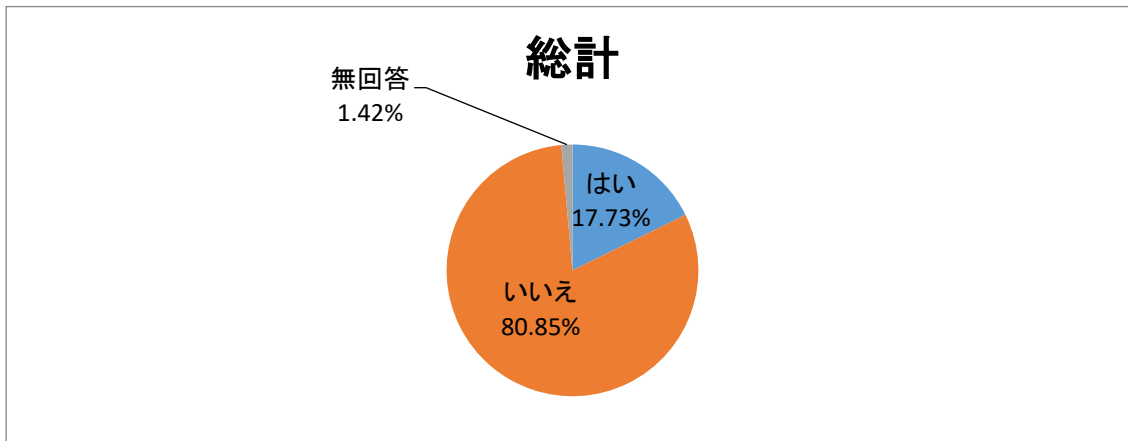
問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある



6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究方法等を用いて新しい知見を生み出すことができるようになった	3.64	3.61	3.86
2) 自身の研究を用いて専門分野をリードすることができるようになった	3.32	3.20	3.76
3) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.43	3.40	3.59
4) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.25	3.15	3.59
5) 新しいことに対して目的をもって何度も挑戦し続けることができるようになった	3.60	3.58	3.72
6) 新たな知・価値のために自発的に学び考え、行動に移すことができるようになった	3.59	3.56	3.72
7) 社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.28	3.16	3.79
8) 複数のメンバーの議論において理解及び尊重を促し、すり合わせるできるようになった	3.38	3.31	3.62
9) 複数の視点で事象を整理することができるようになった	3.52	3.46	3.79
10) 論理的な思考で分析できるようになった	3.53	3.46	3.82
11) 科学技術の深奥を目指し、本質や普遍性を見出す姿勢が身についた	3.53	3.48	3.72
12) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.46	3.41	3.71
13) 自らの知識や技能を活用して高度な問題を解決できるようになった	3.41	3.38	3.59
14) 学術誌に論文を投稿する、学会での発表を行うなど、新たな知見を発信できるようになった	3.72	3.69	3.90
15) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.29	3.19	3.69
16) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.36	3.23	3.82
17) 外国語によるコミュニケーションをとることができるようになった	3.28	3.16	3.74

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

